

平成23年7月11日 横川ダム防災操作速報(今年3回目)

7月11日夕方から降り始めた雨は、17時から18時までの時間雨量が小国町東滝観測所で68mm/h、小国町高野雨量観測所で57mm/hを記録し、特に小国町東滝雨量観測所は、降り始めから約1時間30分で累計雨量が100mmを超えるなど局地的に猛烈な雨が降りました。横川ダムでは完成後第1位の流入量を記録しました。(今回の出水により今年に入って3回目の防災操作を実施しました。)

横川ダムの最大流入量は、7月11日19時20分に約277m³/sに達しましたが、防災操作により、一時的にダム湖に約250m³/sを貯めて、下流河川の急激な増水を緩和し、小国水位観測所(横川)の最高水位を約66cm低下させることが出来たと推測されます。

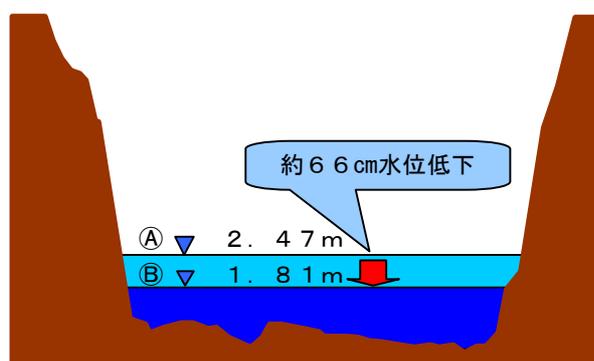
今回の洪水中ダム湖に貯めた水量は約137万m³で、山形県庁(約10万m³)14個分に相当します。

なお、この水量の一部は水力発電のエネルギーとして有効利用されています。

50mm/h以上を記録した雨量観測所の状況

	東滝観測所		高野観測所	
	時間雨量	累計雨量	時間雨量	累計雨量
14:00	0	0	0	0
15:00	0	0	0	0
16:00	0	0	0	0
17:00	56	56	19	19
18:00	68	124	57	76
19:00	7	131	7	83
20:00	0	131	1	84
21:00	0	131	0	84
22:00	0	131	0	84
23:00	0	131	0	84
0:00	0	131	0	84

小国水位観測所(横川)での水位低下効果



- ①: 横川ダムがなかった場合の想定水位
②: 横川ダムの防災操作による実績最高水位

●今回出水における最大値

	最大値	発生時刻
流入量	277m ³ /s	11日 19時20分
放流量	52m ³ /s	11日 22時00分
調節量	249m ³ /s	11日 19時20分
貯水位	248.28m	11日 22時00分

問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局
横川ダム管理支所
支所長 田邊 雄司
TEL0238(65)2363(代)

(※本発表は速報のため、数値は今後変更となる場合があります。)

平成23年7月11日 出水の概要と 横川ダム防災操作の効果

○降雨の概要

7月11日16時から降り始めた雨は、7月11日20時まで降り続け、流域平均総雨量83mmを記録した。特に7月11日17時～18時の間に東滝雨量観測所で最大時間雨量68mm/h、高野雨量観測所では57mm/hを記録した。

○出水の概要

横川ダムへの流入量は、11日18時40分に横川ダムの洪水量150m³/sを超え、11日19時20分には最大流入量約277m³/sを記録した。

○横川ダム防災操作の効果

横川ダムでは最大流入量約277m³/sの内、一時的に約249m³/sをダム湖に貯め込み下流河川の急激な増水を緩和し、小国水位観測所(横川)の最高水位を約66cm低下させることが出来たと推測されます。

